

認定書

国住参建第 4048 号
令和 8 年 2 月 18 日

日鉄建材株式会社
代表取締役社長 新城 晃 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
FP120FL-0281
- 認定をした構造方法等の名称
普通コンクリート床・デッキプレート造床（合成スラブ）
- 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。
令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。

別 添

1. 構造名

普通コンクリート・デッキプレート造床（合成スラブ）

2. 寸法及び支持条件等

- ・床の支持間隔：5,000 mm 以下
- 自重を含めた全荷重：9.7kN/m² 以下
- 注) 全荷重＝固定荷重＋積載荷重
- ・支持条件は単純支持又は連続支持とする。

3. 材料構成等

| 項 目 | 製 品 仕 様 |
|--------------|--|
| 床版 | <p>デッキプレート</p> <p>規格：JIS G 3352(デッキプレート)</p> <p>鋼板の種類：SDP2 もしくは SDP2G</p> <p>鋼板の厚さ(mm)：1.0～1.6</p> <p>山高さ(mm)：90±1.5</p> <p>働き幅(mm)：400±2</p> <p>形状及び寸法：4. 構造説明図参照</p> <p>コンクリート</p> <p>規格：レディーミクストコンクリート(JIS A 5308)</p> <p>種類及び呼び強度(N/mm²)：普通コンクリート(呼び強度：18～48)</p> <p>厚さ(mm)：60 以上(デッキプレートの山上からの厚さ)</p> <p>床版の総厚(mm)：150 以上</p> <p>支持条件：単純支持又は連続支持</p> |
| ひび割れ拡大防止用鉄筋等 | <p>仕様：①もしくは②のいずれかとする。</p> <p>①溶接金網</p> <p>規格：JIS G 3551</p> <p>線径(mm)：6 以上</p> <p>間隔(mm)：100 以下×100 以下</p> <p>かぶり厚さ(mm)：30 以上(コンクリート上面から)</p> <p>②鉄筋(異形鉄筋)</p> <p>材料名及び規格：(1)もしくは(2)のいずれかとする。</p> <p>(1)鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)</p> <p>(2)鉄筋コンクリート用再生棒鋼(JIS G 3117)</p> <p>直径(mm)：D10 以上</p> <p>配筋間隔(mm)：200 以下×200 以下</p> <p>かぶり厚さ(mm)：30 以上(コンクリート上面から)</p> |
| 耐火補強筋 | <p>異形鉄筋(耐火補強筋)</p> <p>材料名及び規格：(1)もしくは(2)のいずれかとする。</p> <p>(1)鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)</p> <p>(2)鉄筋コンクリート用再生棒鋼(JIS G 3117)</p> <p>直径(mm)：D10 以上</p> <p>間隔(mm)：200 以下</p> <p>かぶり厚さ(mm)：30 以上(デッキプレート上面から)</p> |

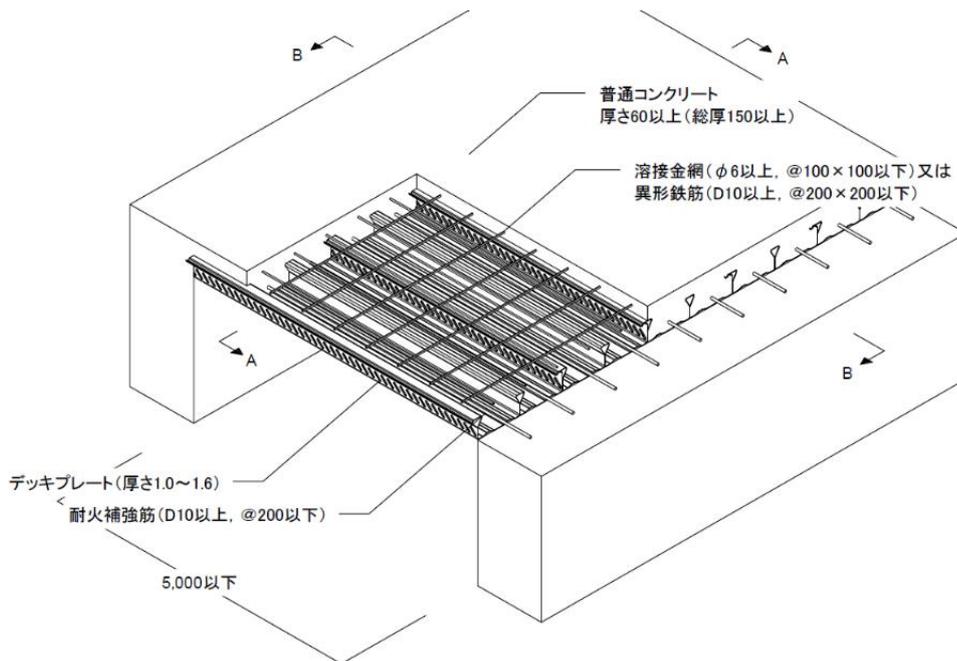
| 項 目 | 製 品 仕 様 |
|-------|---|
| スペーサー | <p>ひび割れ拡大防止用鉄筋等 種類：①もしくは②のいずれかとする。</p> <p>①鉄線 線径(mm)：5.0以上 (規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上) 配置間隔(mm)：1,000以下</p> <p>②セメントモルタルブロック 寸法：規定のかぶり厚さが確保できる断面寸法以上 配置間隔(mm)：1,000以下</p> <p>耐火補強筋 種類：①、②または③のいずれかとする。</p> <p>①鉄線 線径(mm)：4.0以上 (規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形しない線径以上) 配置間隔(mm)：1,000以下</p> <p>②セメントモルタルブロック 寸法：規定のかぶり厚さが確保できる断面寸法以上 配置間隔(mm)：1,000以下</p> <p>③樹脂製ドーナツスペーサー 厚さ(mm)：14以下 外径(mm)：73以下(規定のかぶり厚さが確保できる外径以下) 有機質量(g/個)：8以下 配置間隔(mm)：1,000±100(床スラブ端部を除く)</p> |
| 接合方法 | <p>はりと床版の接合 仕様：耐火補強筋を梁に定着 材料名及び規格：(1)もしくは(2)のいずれかとする。 (1)鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) (2)鉄筋コンクリート用再生棒鋼(JIS G 3117) 直径(mm)：D10以上 定着長さ(mm)：150以上 配置間隔(mm)：200以下</p> |

4. 構造説明図

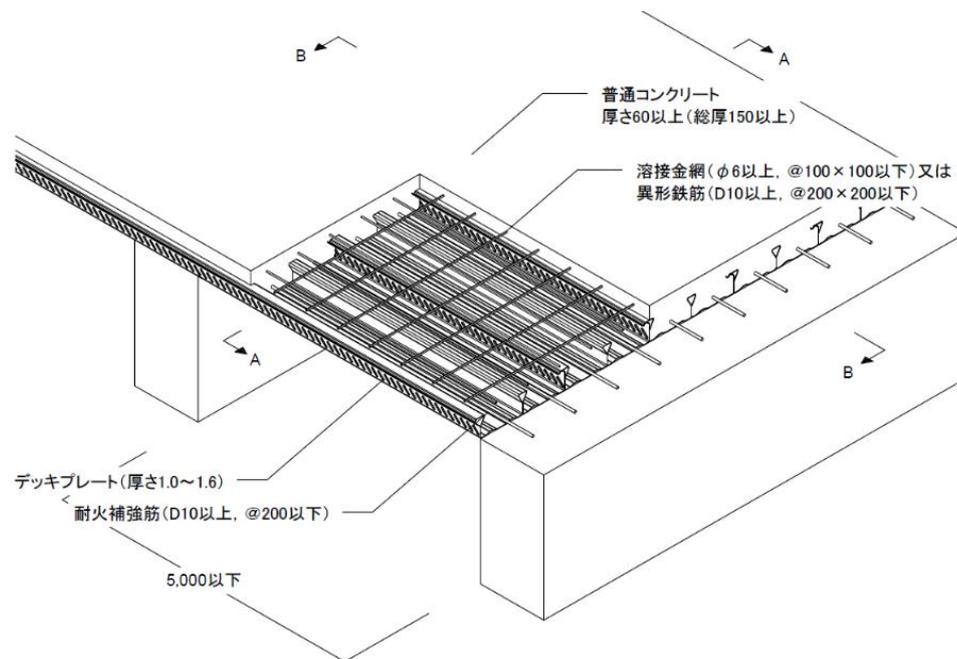
(単位 : mm)

(1) 透視図

(1) - 1 デッキプレートが単純支持の場合



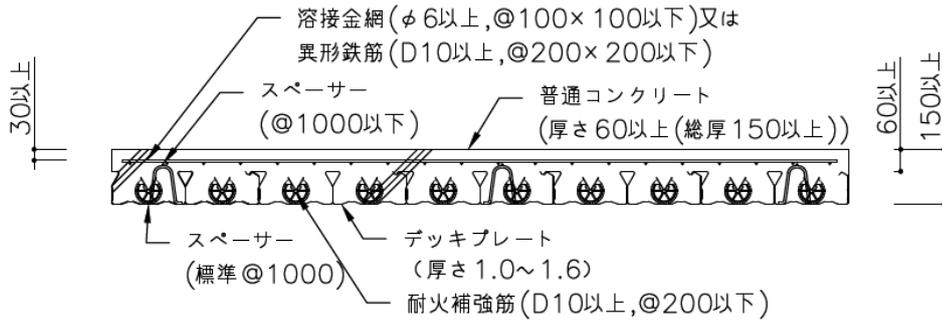
(1) - 2 デッキプレートが連続支持の場合



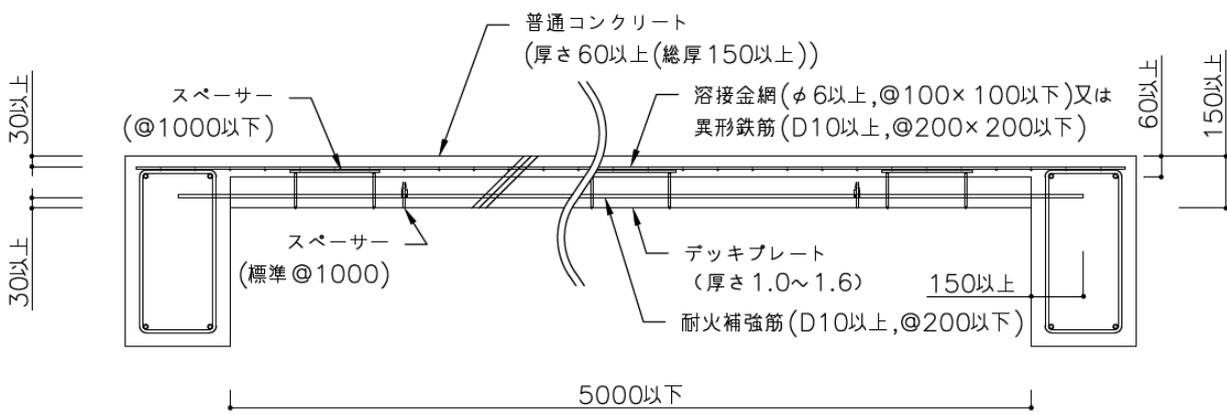
(2) 断面図

(単位 : mm)

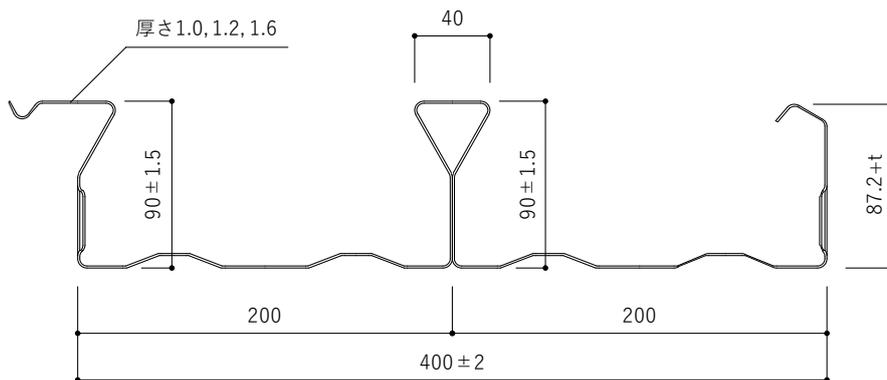
i) A-A断面図



ii) B-B断面図



(3) デッキプレートの形状及び寸法



5. 施工方法

(1) デッキプレートの敷込み及び梁とデッキプレートの接合

デッキプレートを設置する梁の内々間隔が 5,000 mm以下であることを確認する。デッキプレートのみ込みが 0mm 以上となるように敷込む。

(2) 梁とデッキプレートあるいは床版との接合

耐火補強筋を 150mm 以上梁に定着させることで接合する。

(3) デッキプレートの長さ方向相互の接合

デッキプレートの長さ方向相互は嵌合により接合する。必要に応じて、その嵌合部を溶接、ねじ等で固定する。

(4) デッキプレートの小口処理

必要に応じて、デッキプレートの山部の小口を鋼板等で塞ぐ。

(5) 耐火補強筋の配置

異形鉄筋 D10 以上をデッキプレートの各溝に 1 本ずつ、スペーサー（鉄線およびコンクリートブロックの場合は配置間隔 1,000mm 以下、樹脂製ドーナツスペーサーは一般部の配置間隔 1,000mm）を用いて、溝部中央、デッキプレート上面から 30mm 以上の位置に配筋する。配筋の詳細は「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」による。

鉄筋コンクリート梁等の場合は、梁に 150mm 以上定着させる。その他の配筋の詳細は、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」による。

(6) ひび割れ拡大防止用鉄筋の配置

溶接金網または異形鉄筋は、スペーサー（配置間隔 1,000mm 以下）を用いて、床版上面からのコンクリートのかぶり厚さが 30 mm以上となるように床全面に敷き並べる。

溶接金網は、直径が 6mm 以上、網目間隔が 100×100mm 以下のものとする。異形鉄筋の直径は D10 以上とし、配筋間隔は縦及び横とも 200mm 以下とする。異形鉄筋の加工及び組み立ては、「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事(日本建築学会)」(以下、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」という)に準拠する。

(7) コンクリートの打込み

コンクリートの打込みは、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。コンクリートは、補強筋の移動によりかぶり厚さ不足が生じることのないように、また、所定厚さを確保するように不陸なく打込む。

(8) コンクリートの仕上げ

コンクリートの表面は金ごて等の仕上げを施す。

(9) コンクリートの養生

コンクリートの養生は、「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に準拠するが、初期には湿潤養生を行う。